

## 県内最大の生産量を誇るJAしおのや管内で 菌床シイタケが出荷最盛期を迎えています

10月からJAしおのや管内で、JAしおのや菌床しいたけ部会が栽培する菌床シイタケの出荷が本格化し、現在出荷最盛期を迎えています。生育は夏の猛暑の影響で半月程遅れていましたが、ボリュームがある肉厚なシイタケで品質は良好です。是非、取材をお願い致します。

<詳細>

### ◆生産者の取材を希望する場合

菌床しいたけ部会の阿美文雄（あみ ふみお）部会長のほ場で、ハウス内や収穫作業の写真が撮れます。  
JA広報も取材に行きます。

【日時】2020年10月28日(水)  
10時～

【場所】矢板市片岡

※ほ場まで車で誘導します。当日9時45分までにJAしおのや片岡支店(矢板市片岡 2099-6)にお集まりください。  
※汚れても良い靴(スニーカー等)でお越しください。



↑菌床で栽培されたシイタケ

### ◆菌床センターでの取材を希望する場合

生産者が収穫して菌床センターに持ち込んだシイタケを、パックセンター内で、パート従業員が手早く出荷規格ごとに選果選別しパック詰めや袋・箱詰めを行います。

【日時】2020年11月9日(月)～13日(金)  
9時～12時頃 ※生育状況次第では午後も可能

【場所】JAしおのや菌床センター敷地内のパックセンター  
(さくら市南和田 237-2)



↑パックセンター内での選果の様子

<JAしおのや菌床しいたけ部会について>

部会員数：30人 / 出荷時期：通年

出荷先：県内、東京方面の市場

出荷数量：日量約2t（10月現在）

ピーク：最大で日量約4t（10月中旬～12月中旬頃）

主な品種：北研607号（きのこの北研の種菌）

菌床シイタケは、おがくずを20センチ四方のブロック（菌床）にシイタケ菌を播き、湿度や温度管理されたハウス内で育ててシイタケを発生させます。約3、4か月培養した後、4～6か月の間収穫が可能。複数のハウスを持つと1年中出荷ができるのがメリットです。

<お問い合わせ先> ※取材にお越しいただける際は、前日までにご一報ください。

JAしおのや 企画管理部企画広報課 広報担当：富川、小森 TEL：028-681-7551  
菌床センター 菌床担当：印南 TEL：028-686-5377

